

# 鉄道グッズ

18-D A・H

## 初めに

ひとくちに鉄道ファンといっても様々な細かい違いがありますが、その中でもメジャーといえるジャンルのひとつは「収集鉄」ではないでしょうか。コロナの影響もあり、あまり外に出て写真を撮って部誌にするということが出来ないご時世。この記事では、わたしの切符コレクションの一部を紹介したいと思います。

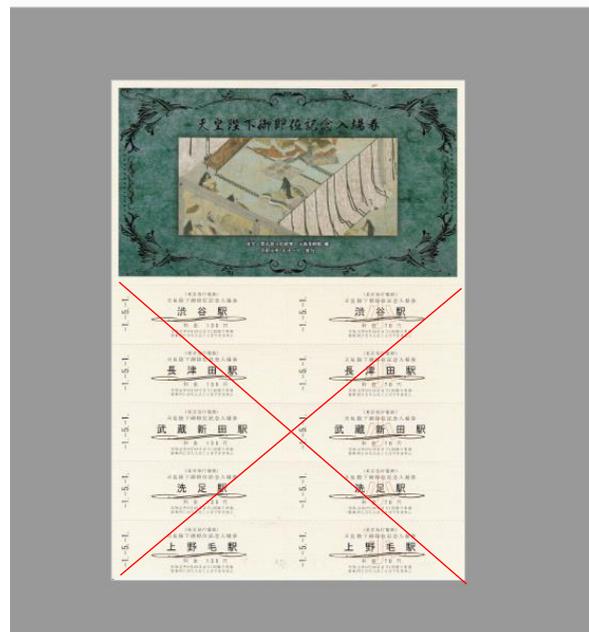
## ①東急電鉄

### (1)天皇陛下御即位記念入場券

令和元年五月一日に発売された入場券です。渋谷駅・長津田駅・武蔵新田駅・洗足駅・上野毛駅の大人用と子供用の入場券がそれぞれ一枚ずつセットになっています。

私の記憶では、2000円程度と平均的な記念切符の価格で発売されていましたが、外装は和紙のような材質で作られ銀のかすみ模様が入っている、入場券の絵部分には「紫式部日記絵巻」がカラーで印刷されているなど、とても手の込んだつくりになっています。

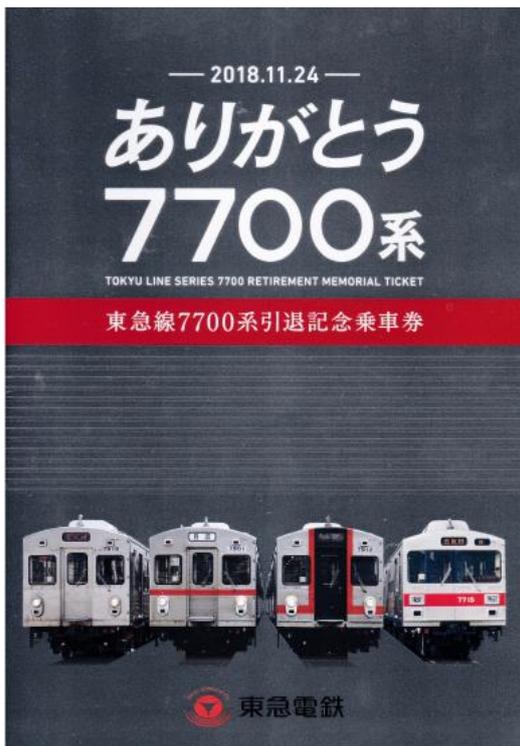
※入場券部、赤線は筆者加工



(2)ありがとう 7700系

池上線・多摩川線で運用されていた日本初のステンレス車両である 7700 系の引退記念乗車券です。各区間の乗車券と、蒲田駅の入場券がセットになっています。

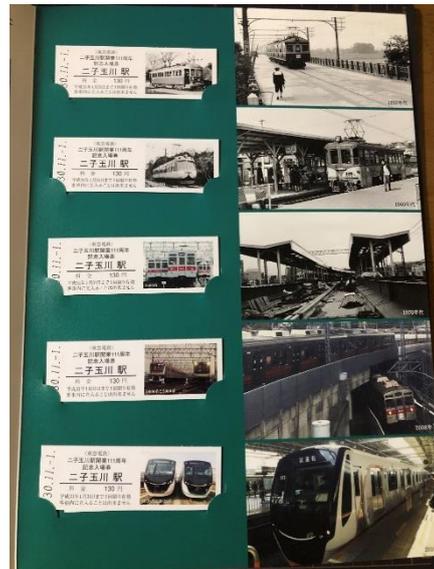
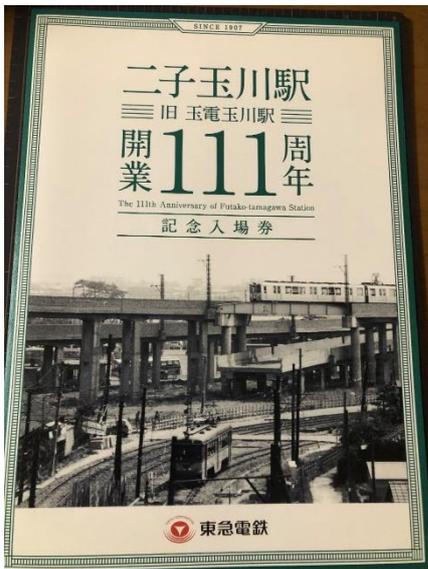
写真ではあまり綺麗に映っていないのですが、実物の表面はステンレスのように銀色になっています。また、青色矢印部分には側面のコルゲートを模した加工が施されています。記念乗車券だけではなく、ポストカード（下段左）やクリアファイル（下段右）もついていました。





### (3)世田谷線散策きっぷ

記念切符ではないですがカラー刷りの企画券です。東急の他の企画券は普通の切符用紙に印字された物が多いのですが、世田谷線の場合は自動改札が配備されていないからなのかこの切符は厚紙に綺麗に印刷されていました。



### (4)二子玉川駅 111 周年記念入場券

二子玉川駅開業 111 周年を記念した入場券です。6020 系の試運転や、田園都市線 50 周年記念ヘッドマークをつけた 8606F の写真など、貴重な写真が使われていました。



(5)大井町線開業 90 周年・Q SEAT サービス開始 1 周年記念カレンダー

ここまで入場券や乗車券などが並んできた中、異色の記念「カレンダー」です。大井町線の 90 周年記念関係では、9000 系に記念ヘッドマークが掲出されたりもしました。



(6)南町田駅 駅名改称記念

南町田駅の駅名が「南町田グランベリーパーク駅」に変更されたときの記念です。

左の記念切符セットには、新駅名の入場券と駅名票キーホルダーがセットになっています。大人用入場券は写真が当時の田園都市線で最新鋭だった2020系、子供用は当時の田園都市線車両の中で最古参だった8606Fになっているなど、時代の移り変わりを感じさせる入場券になっていました。

右の駅名標キーホルダー・下の入場券は、特に特別な物という訳ではないですが、旧駅名時代の記念です。

## ②一畑電車

2019年の夏季研修旅行で訪れ、デハニ50の運転を体験した時に購入したきっぷ類です。紙面の都合上紹介できませんが、島根県キャラクターの「しまねっこ」とコラボした切符類も数多く発売されていました。

### (1)一畑電車フリー乗車券

体験運転の特典のフリー乗車券です。一般販売の乗車券と変わりませんが、体験運転と大きく判子が押してある、発行駅が営業課になっているなどの違いがあります。





## (2)入場券

硬券の入場券です。首都圏では硬券をほとんど見ることはありませんが、一畑電車では普通に使われていた点に驚きました。

## ③いすみ鉄道



## (1)団体乗車票

新入生歓迎旅行において、いすみ鉄道で貸し切り列車を走らせた時の団体乗車票（硬券）です。

今思えば、この団体乗車票から本格的に収集鉄の沼にはまり始めたような気がします。

#### ④北九州高速鉄道



##### (1)往復乗車券（小倉-旦過） ※赤線筆者加工

記念切符でも企画券でもない、普通の切符です。

2019年の冬期研修旅行で宿泊先のホテルと小倉駅を往復したときのものです。

サイズは普通の切符なのですが、磁気テープを使っておらず中央のQRコードを改札にかざして入出場する方式です。出場時には、QRコードをかざしてから回収口（普通の改札の物とおなじ）に投入するという、初心者には難しい方法でした。

#### ⑤箱根登山鉄道



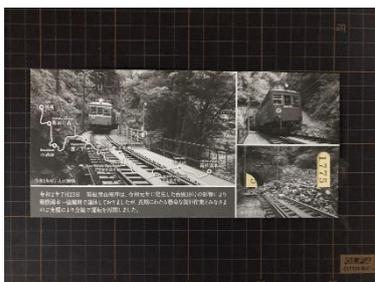
##### (1)各駅入場券※赤線筆者加工

箱根登山鉄道の小田原-強羅間の全駅の入場券です。「硬券入場券セット」というタイトルがついていますが、実は各駅を回って一駅ずつ入場券を購入、別売りの台紙にはめるという方法でした。

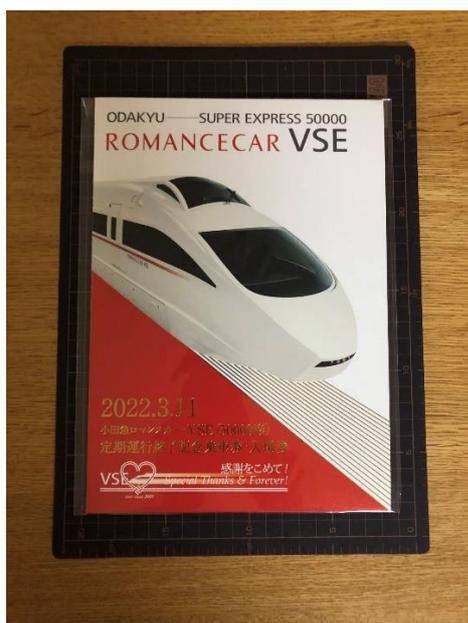
## (2)全線運転再開記念切符

台風19号の影響で大きな被害を受けた箱根登山鉄道の全線復旧を記念した物です。箱根湯本発強羅行と強羅発箱根湯本行の切符が2枚1セットになっていました。

会社の方のサービスなのか、箱根登山ケーブルカーの新型車導入記念クリアファイルも同封して下さいました。



## ⑥小田急電鉄



## (1)VSE 引退記念切符

VSE の引退記念切符です。LSE の引退の際とは違い、事前予約制での販売でしたので、この様な状況でも安心して購入できました。

どことなく、LSE 引退記念切符と全体的な雰囲気が似ている気がします。

本来であれば、ラストランに行きたいところですが、このご時世を考え記念切符のみで我慢することになります…



## (2)特急券

2009年と2019年の特急券です。

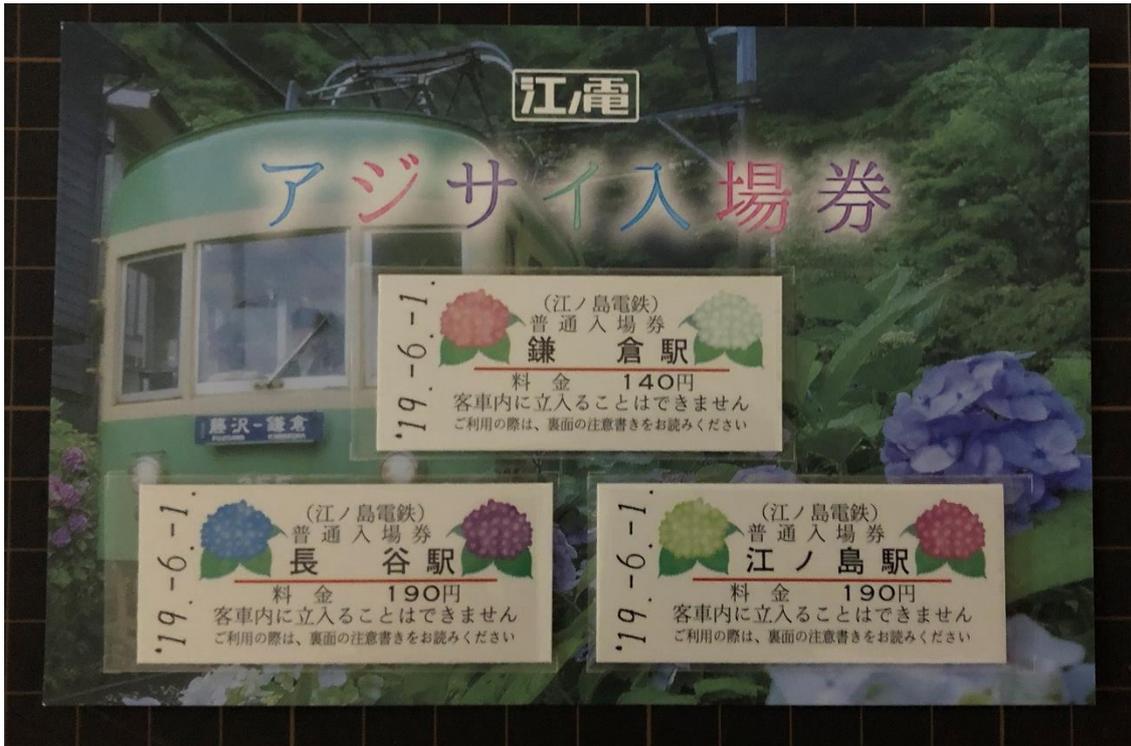
10年たってもあまりデザインが変わっていない点に驚きましたが、車両がVSE→GSEになっている点など、10年の月日を感じさせます。

## ⑦江ノ電

### (1)江ノ島駅入場券

普通の入場券を買ったと思ったら、はがきサイズの台紙までついてきました。



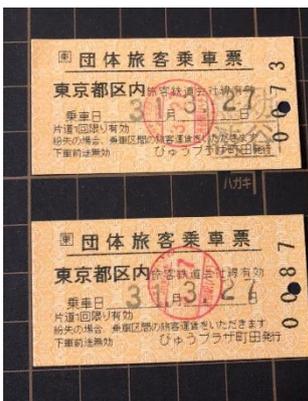


(2)アジサイ入場券

鎌倉駅・長谷駅・江ノ島駅の3駅の入場券がセットになっています。

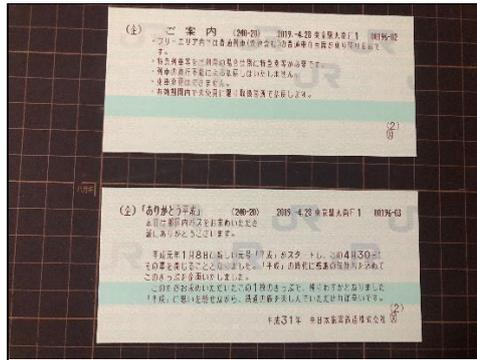
各駅2つずつアジサイが描かれていますが、ひとつずつ微妙ですが色が異なっています。

⑧JR



(1)団体旅客乗車票

「団体旅客」が団体と合流したり分けられたりするときに使う乗車券です。「東京都区内」≠「東京都内」なので注意が必要です。団体乗車券を使用する時にのみ発行される乗車券なので、レアな乗車券ではないでしょうか。



(2) 「ありがとう平成」都区内パス

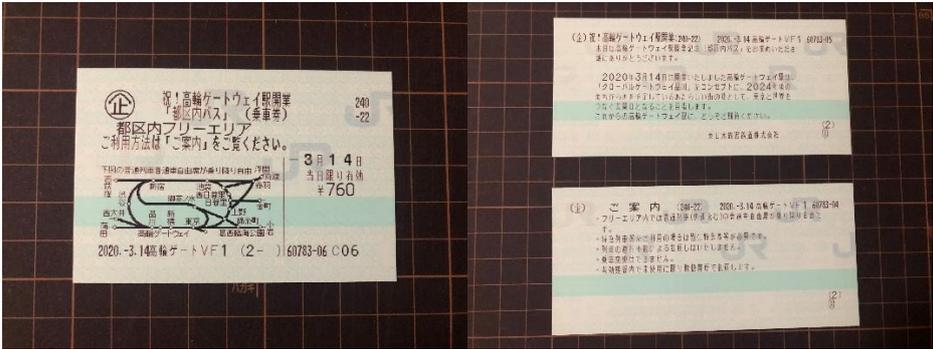
明仁天皇（現上皇陛下）が御退位され、「平成」が幕を閉じる事を記念して発売されました。案内券だけではなく、メッセージ券も付属していました。



(3) 「ようこそ令和」都区内パス

今上陛下が御即位され、令和のはじまりを迎えたことを記念した都区内パスです。令和最初の日に東京駅で購入したという由緒正しい(?) 切符です。これにもメッセージ券が付属しています。





(4)高輪ゲートウェイ駅開業記念関連

高輪ゲートウェイ駅開業記念都区内パスと普通の入場券です。これも、開業日に高輪ゲートウェイ駅で購入しました。

そこまで人はいないだろうと高をくくって朝の9時頃に到着してみると、券売機の待ち時間が140分という、その時点で一大アトラクションになっていました。

⑨会社融合





## (1) ソラ鉄お散歩きっぷ

写真上段：切符表面

写真下段左：切符裏側（全共通）

写真下段右：ソラシドエア機材 Boeing 737-881（JA67AN）※ANAからの移籍機材

ソラシドエアと各種鉄道会社がコラボした乗車券です。

東急は田園調布駅周辺を、京成は成田山新勝寺を、京急は羽田空港をモチーフにしています。

京急の切符は発行駅は羽田空港第二ターミナル駅ですが、イラストに描かれているのは第三ターミナルから望む、管制塔と第一ターミナルという、大人の事情を感じました…

※ソラシドエアとは…

ソラシドエアとは、九州地方をベースとする、日本のMCC（ANAやJALなどのFSCと、peachやJetstarなどのLCCの中間）です。

ANA系列の会社であり、ANAで使用していた機材を使用していたりもします。

## おわりに

いかがだったでしょうか。この数年、幸か不幸か新型コロナウイルスの影響で記念切符の販売の多くが事前予約制やインターネット通販となり、前日の夜から駅に並ばないと記念切符を買えないなどということがなくなってきており、切符の収集を始めやすい環境になってきています。なかなか旅行が出来ない中、記念切符で旅行気分を味わってみてはいかがでしょうか。

写真は全て筆者撮影。